

(例) [いぬ] ⇒ inu

1 [りんご] ⇒ _____

2 [あさって] ⇒ _____

3 hyaku ⇒ []

次の1と2の言葉を、れいのように、ローマ字でいねいに書きましょう。また、3のローマ字は、ひらがなでていねいに書きましょう。

年 組 番 名前



たしかめプリント【小学校三・四年生】言葉②

年 組 番 名前

次の「一」と「二」のことわざの意味を、1から4までの番号の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

一 「石の上にも三年」

- 1 何事もやつてみないと、よさが分からないこと。
- 2 あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- 3 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- 4 しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

二 「急がば回れ」

- 1 その人のためになる注意は、なかなか聞き入れられにくいこと。
- 2 ていねいに取り組んでも、いつこうに手こたえがないこと。
- 3 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。
- 4 何事も用心を重ねて取り組むことは難しいこと。

二

一



たしかめプリント【小学校三・四年生】言葉③

年 組 番 名前

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのなかから
それぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル8

一 「五十歩百歩」

- 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べれるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとつては、**五十歩百歩**だ。
- 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、**五十歩百歩**だ。
- 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、**五十歩百歩**だ。

レベル8

二 「百聞は一見にしかず」

- 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分を聞くと、結論まで見通すことができるという。**百聞は一見にしかず**ということができる人だ。
- 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに**百聞は一見にしかず**だ。
- 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に**百聞は一見にしかず**だと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

二

一



たしかめプリント【小学校三・四年生】言葉④

年 組 番 名前

古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次の□に入ることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア

三度目の正直

(意味)

一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

(使い方の例)

ア

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

3 一本めと二本めのシートは外れたけど、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

ア



コバトン

もちはもち屋

(意味)

何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ。

(使い方の例)

イ

1

もちはもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、しゅみはいろいろあつた方がよい。

2

もちはもち屋と言うように、卓球たっきゅうの審判しんばんなら卓球クラブの友達にたのむ方がよい。

3

もちはもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。

イ

たしかめプリント【小学校三～四年生】言葉⑤

年 組 番 名前

北村さんは、読んでいた本の中に出でてきた表現の意味と使い方をカードにまとめてあります。北村さんが書いた【カード】の中に入る内容として最も適切なものを、あとの一から四までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【カード】

心を打たれる

◆使い方：
◆意味：

イ

ア

ア

イ



イ

4 3 2 1

ア

4 3 2 1

一つのこと^{しゆう}に集中^{ちゅうう}する。

遠りよする。

感動^{かんどう}する。

あれこれと心配^{ぱい}する。

オーケストラの演奏^{えんそう}をきき、心を打たれる。

地域^{ちいき}の発展^{はつてん}のために、長い間、心を打たれる。

相手^{あいて}に失礼^{しつれい}のないよう心を打たれる。

同級生^{きょう}に心を打たれることなく相談^{そうだん}する。

ア

イ

たしかめプリント【小学校三～四年生】言葉⑥



年 組 番 名前

岸さんは、「インタビューの様子」の中の「習うより慣れよ」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の【ノートの一部】の□ウに入る例として最も適切なものを、あとの一から四までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。

【ノートの一部】

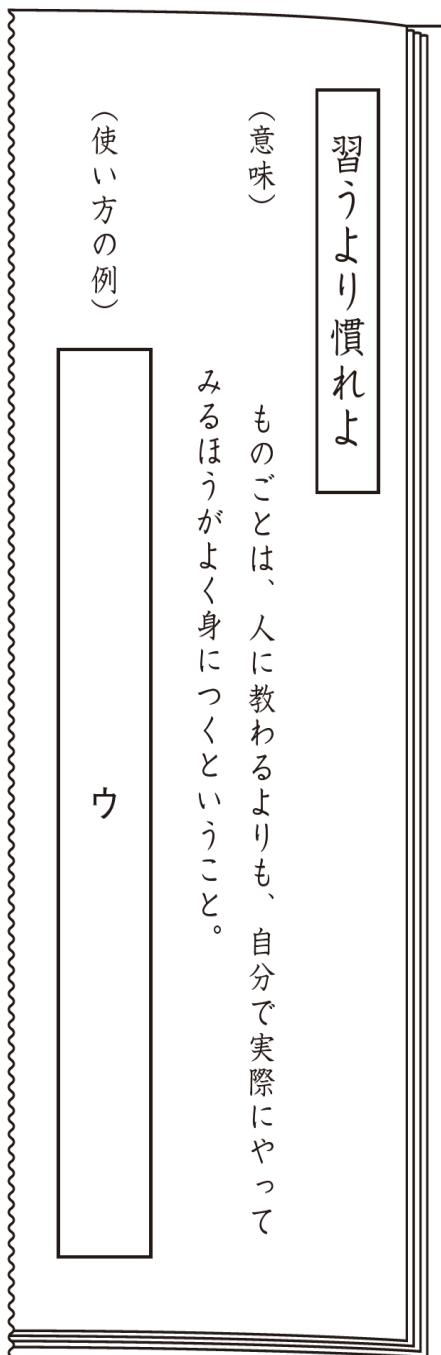
習うより慣れよ

(意味)

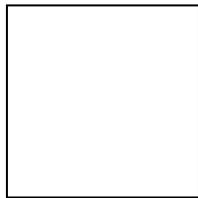
ものごとは、人に教わるよりも、自分で実際にやってみるほうがよく身につくということ。

(使い方の例)

ウ



- 1 何度も乗って練習すれば、自転車にうまく乗れるようになるよ。**習うより慣れよだよ。**
- 2 どんな所でも、住み慣れればよい所だと思うようになるよ。**習うより慣れよだよ。**
- 3 新しいくつは最初のはきごこちが悪いけれど、数日はくと足になじむよ。**習うより慣れよだよ。**
- 4 一生けん命がんばったから、あれこれ考えず気長に結果を待とうよ。**習うより慣れよだよ。**



たしかめプリント【小学校三～四年生】言葉⑦

年 組 番 名前

— 1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでのなかからそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 ア 降つていた イ 雨が、 ウ 急に エ
ぼくの 妹の ウたんじょうび やんだ。

2 ア ほくの イ 妹の ウたんじょうび エ
誕生日は、 ウ 五月二日だ。

【文の型】

ニ 1から3までの文は、下の【文の型】のア・イ・ウのどの型に当たりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 「何は（が）」「何だ」

イ 「何は（が）」「どうした」

ウ 「何は（が）」「どんなだ」

レベル7

レベル8

- 1 私は、国語の学習で感想文を書いた。
- 2 頂上から見える景色は、すばらしい。
- 3 日本で一番高い山は、富士山だ。

二の3	二の2	二の1

一の2	一の1



たしかめプリント【小学校三～四年生】言葉⑧

年 組 番 名前

大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、――部と――部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の【春休みの出来事の一部】をよく読んで、あとの（問い合わせ）に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゅう実したものとなりました。でも、反省していることもあります。

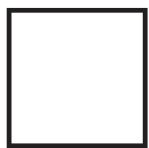
④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしつかりがんばりたいと思います。



(問い合わせ)

----- 部と ----- 部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までのなかから一つ選んで書きましょう。また、----- 部はそのままにして、文の意味*いみ*が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

選んだ文の番号……



書き直した一文



たしかめプリント【小学校三・四年生】言葉⑨

年 組 番 名前

レベル7

高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の□の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文とをつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知つておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

そこで、

※【報告する文章】については、問題を解く上で支障がないので、省略しています。

